# 熊歯会報

2
2011

Kumashi Kaihou

2011年2月15日
No.658

熊本県歯科医師会

# 熊歯会報 2月号

2011

―表紙に寄せて―

どんど焼の1枚です。
書き初めの習字と餅を焼き、書道上達と無病息災を子供達と願いました。（A.S）

## 歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

## もくじ


巻頭言（副会長　小島　博文）…… 3

理事会 …… 4～5

委員会だより …… 6～10
（医療対策・学術・センター介護・地域保健）

郡市会だより …… 11～13
（下益城・宇土・上益城・天草・八代・荒尾）

熊日朝刊…… 16～19
（歯科コラム記事）

会長の動静 …… 20

会務報告 …… 20～22

# 明るい命がけの元気

噴煙

副会長　小島　博文

昨年は坂本龍馬が大ブレイクした一年でした。何故、坂本龍馬というのは日本人に人気があるのでしょう。今、日本人が知っている坂本龍馬像と言うのは、作家の司馬遼太郎が著書「竜馬がゆく」で作り出したイメージが元になっていると言われます。たしかに私も三十数年前、この「竜馬がゆく」を読み、感動して高知まで行ったことがあります。（この時もブームでした）まあ、しかし現在でも各地に彼の研究会と言うのか、保存会と言うのか、とにかく多数存在しているという事を考えると、やはり作られたイメージだけではないと考えられます。ちなみに龍馬だけではなく、この幕末から明治維新には、きら星のごとく英雄や偉人が輩出してきます。そして彼らには一つの共通点があります。

話がそれますが、先日、熊本市歯科医師会の新年会に出席した時、清村会長が、挨拶の中で「最近台湾に行ったが、現地の人に、今の日本人は下ばかり向いていて全く元気がないとおこられて、なるほどと思った」と言っておられました。

そうなんです。私が言いたいのもそこなんです。龍馬をはじめとする幕末・維新の英雄達は、みんなとびきり元気が良かったのです。しかもこの元気は命がけです。極端な言い方をすると、元気な順に命を落としています。そして龍馬が、今の日本人に人気があるのは、この命がけの元気の上に、明るさがあったからではないでしょうか。要するに「明るい命がけの元気」と言う事になります。またこのような、当時の日本を変えようとするリーダー達の元気が一般庶民にも伝わって行き、その幕末から明治にかけての国家像が全体として元気一杯というイメージを作り上げているのではと思われます。

ところで、現在の日本にこのような政治家が何人いるのでしょうか。日本は変われるのでしょうか。日本国民は元気になれるのでしょうか。

顧みて、熊本県歯科医師会はどうなのでしょうか。浦田執行部もこの３月で任期は終了します。この２年間、少なくとも私達執行部は元気だったつもりですが、どのように会員の先生方に映ったのでしょうか。先生方に少しは元気をあげられたのでしょうか。

あとわずかではありますが、浦田執行部一丸となって、楽しく、元気にがんばりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

理事会報告

# 郡市と連携して条例を推進

## ― 第10回理事会 ―

１月25日（火）午後７時より県歯会館第１会議室において浦田会長ほか大林理事を除く全役員出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を勇理事、加藤として第10回理事会が開催された。

開　会：前野副会長

### 浦田会長あいさつ

あけましておめでとうございます。今年最初の理事会にお集まりいただき、ありがとうございます。すでに今月も下旬に入っておりますので、我々の任期もあと２ヶ月余りとなりました。最後までよろしくお願いいたします。

後程、報告にも出てきますが、口腔保健条例が昨年末までに全国で15道・県成立しており、市レベルでも成立したと聞いております。今後も口腔保健条例が成立する自治体が増えてくると思われます。本県でも条例をもとに、会員の先生方のご理解を得ながら、各郡市とも連携して県民の歯及び口腔の健康づくりを推進して参りたいと思います。

こちらも後程、報告・協議いたしますが、公益法人制度改革で日歯の方より新たな情報が入ってまいりましたので、それをもとに本会では３月の通常代議員会・総会でどのような対応をとるかお諮りしたいと思います。

現在、インフルエンザが大変流行っていますので、体調管理には充分気を付けていただければと思います。本日も慎重審議の程よろしくお願いいたします。

**会務報告：**（自：12月22日～至：１月20日）

総　　務：理事会、常務理事会、新法人設立検討臨時委員会、日歯理事会、県糖尿病対策推進会議
社会保険：社会保険・学術講演会
地域保健：地域保健研修会、県歯科保健推進会議ワーキング部会
厚生・管理：定期健康診断
広　　報：会報編集・校正、熊日新聞歯科コラム、県歯ＨＰリニューアル
学校歯科：各郡市担当者会議

本日も慎重審議をお願いします

医療対策：医療相談苦情事例報告
センター・介護：口腔保健センター危機管理体制打合せ、県障がい児（者）歯科保健推進協議会、県地域リハビリテーション支援センター連絡協議会・研修会
学　　院：一般一次・社会人入試
国保組合：国庫補助金の減額案

以上、各担当役員より報告がなされた。

**会務報告その２：**

１．日歯報告

浦田会長より、以下のとおり資料に基づいて説明・報告が行われた。

○日歯ＨＰの都道府県ページ「都道府県歯weblog」

２月１日より、日歯ＨＰのメンバーズルームがリニューアルされることに伴い、各都道府県歯が全国の会員に発信したい情報等をブログ形式で自由に掲載できるページが設けられた。本県のページに掲載する内容については、広報委員会を中心に検討する。

○Tooth Fairyプロジェクト第２弾（案）

小児ホスピスの整備と小児がん専門施設の建設が計画されている。

○地域歯科医療提供サービス力向上モデル研究事業（案）
日歯総研が、地域の訪問診療を効率的に提供する仕組みを構築するとともに、訪問診療にかかる効率化により１人当たりの固定費や時間の圧縮を図ることで、各診療所の経営基盤安定の一助を目的とした事業を計画している。
○都道府県歯における歯・口腔に関する条例一覧

２．退会会員
○下村　敏朗　会員（熊本市／一般）
平成22年12月27日ご逝去
○小山ひろみ　会員（菊池郡市／一般）
平成23年１月10日ご逝去

３．職員人事
採用（平成23年１月４日付）
柴田富貴子　口腔保健センター担当（所属：学院課）

４．名義後援使用依頼
○第２９回熊本春節祝賀会／熊本県日中協会
○子育て応援団すこやか2011／子育て応援団実行委員会

５．熊本県の立入検査結果
特に不適切な事項はなかった。ただし、改善事項として、３月31日現在の残高証明書を整備するよう指摘があった。

６．要望書（義歯刻印）に対する回答
本県が中心となって作成し九地連名義で提出した要望書について、日歯より厚生労働省及び警察庁に働きかける旨の回答があった。

７．各会計12月末現況
西野常務理事より、資料に基づいて報告が行われた。

８．２月行事予定
理事会は、３月５日の代議員会・総会の関係で、15日（火）に開催する。さらに、小島副会長より、13日（日）県医療・保健・福祉連携学会と26日（土）日本口腔外科学会熊本支部研修会への参加呼びかけが行われた。

９．医療苦情に関する通知
８月～12月分について、医療苦情に関するお知らせを15件、医療苦情に関する通知書を４件発送した。

10．役員・委員会委員合同慰労会
２月18日（金）午後７時より、ＫＫＲホテルにおいて開催する。

11．委員会事業実施報告
医療対策委員会：「医療トラブル講演会」
（12月16日）

12．その他
○浦田会長より、口腔保健センター施設設備の整備費の助成について進展があった旨の報告が行われた。

## 協　議：

１．平成23年度一般会計・特別会計予算（案）〔承認〕
原案どおり承認し、３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

２．通常代議員会の会務現況報告
（22年９月～23年１月）
追加・訂正があれば事務局まで連絡することとした。２月15日（火）の理事会で最終確認する。

３．通常代議員会・総会の議事〔承認〕
一般社団法人・公益社団法人移行の選択決定について議事として提出する予定であったが、日歯から新たな情報が入った事もあり、もう少し情勢を見守る必要があるため協議にまわすこととした。
その他の議事については、原案どおり３月の通常代議員会・通常総会に議事として提出することとした。

４．平成23年度年間行事予定〔承認〕
常務会・理事会は原則として木曜日に開催することとした。

５．セクシャルハラスメントの防止に関する規程〔承認〕
原案どおり承認し、22年９月に遡って施行することとした。

６．平成22年度第２回九地連協議会各県提出協議題
各県提出協議題に対する本県回答の確認が行われた。

７．理事の時間
伊藤学院長及び学院専任教員より、21年度から新たに取り組んだ事項と成果・反省点や指導実習強化の取り組みについて報告・説明が行われた。

監事講評：遠山監事、片山監事
閉　　会：中嶋副会長

（広報　加藤　久雄）

# 県により対応差あり

## ― 九州各県医療安全担当者会議 ―

### 医療対策委員会

10月30日（土）午後１時より大分県歯科医師会館において、九州各県医療安全担当者会議が行われた。

大分県歯会丸尾道彦会長の挨拶に続き、日歯中尾常務理事の挨拶の後協議に入った。

会議は、日歯報告の後各県の事業計画、予算についての報告、各県提出協議題についての報告、意見交換、日歯への要望及び質問、統一フォーマットによる事例報告、本会議の開催時期についての協議の順で行われた。

各県提出協議題についての協議が、最も白熱した議論が行われた。各県提出協議題も例年と比較して、具体的かつ緊急を要する事例に即した物が多く提出されており、それに対する各県からの意見は非常に有意義なものであった。

当県提出の協議題「精神的に問題のある患者のクレームに対する対応についてお尋ねしたい。また、この種の患者の事に関して勉強会あるいは会員に対する講演会等を行われた事があればお聞かせ願いたい。」について、福岡県は各郡市支部によって独自に講習会を行っており、この種の事例については顧問弁護士や各郡市の担当委員に対応を任せている。佐賀県は特記事項無し。長崎県は、患者対応については早急に弁護士に依頼をし、各郡市の研修会において会員に対する指導を行っているという回答であった。特に回答を得られなかった県を含めて、当県の認識とは大きな違いを感じた。

我々は、この種の患者との間に問題を抱えた会員が発生した場合には、当該歯科医師と我々委員とで当該患者との間に積極的に事案についての話し合いをする事により、患者に関する多くの情報を得て、それを全会員に提供・還元する事により、同様の事案発生件数を減少させる事を目的としている為、他県が今行っている即弁護士が対応という活動には、一線を感じざるを得ない。

提出協議題が積極的に議論された

しかし、今回の九州各県医療安全担当者会議を通じて、他県担当者が当県担当者に対して積極的に質問をされ、閉会後も個人的に事例についての質問や意見を求めてこられる状況に接し、他県担当者の認識に変化が現れている事は確かであるとの手ごたえが得られた。また、他県の事例についての意見を当県名指しで求められる事も多く、当県委員会活動の有意性を強く感じた次第である。また、当県にて作成した医療安全対策書については、各県担当者の興味が集中し、片山理事による対策書の説明により各県担当者が未だ手掛けた事のない分野に対する積極的関与が必要である事を知ったとの感想を得た。

全体において、例年の担当者会議よりさらに密度の濃い議論になったと感じている。

（冨屋　栄祐）

# 毅然とした態度で

## 不当要求に負けない為に！「暴力団やクレーマーなどの撃退法」

## ― 医療トラブル講演会 ―

### 医療対策委員会

12月16日（木）午後７時30分から県歯会館４階ホールにおいて、会員、スタッフ等多数の参加のもと医療トラブル講演会が行われた。

医療対策岡田副委員長による開会の辞、そして前野副会長の挨拶が行われ、講演では、熊本県警察本部刑事部組織犯罪対策課暴力対策官開田哲生警視から暴力団についての概要、組織の仕組み、お金の流れ、構成員についてなど、組織の実態の詳しい解説があった。

次に、暴力対策係長田代正義警部補同じく暴力対策係長藤内智実警部補が暴力団に扮し、会員歯科医師とそのスタッフ及び事務局からは澤田事務局長が歯科医院の事務長という役でロールプレイングを行った。クレームの設定としては、「歯が痛くて歯科治療を受けたが、その時に治療同意書を書かなかった。その時の治療は自分が同意したものではなかった。支払った代金を返せ。」というもの。暴力団に扮した警部補二人の白熱の演技に対応役の会員とスタッフはしどろもどろながら懸命に対処していたが、参加者全員あまりの迫力に驚き、恐怖をおぼえながら、実際に自分ならどのように対応するだろうかと自問自答しながらの聴講となった。対応役の会員歯科医師とスタッフの熱演にも大きな拍手が起こった。

その後、暴力団に関するＤＶＤが上映された。内容は、暴力団が行う暴力的要求行為、準暴力的要求行為に対して、警察の指導により市民が撃退していく内容であった。

そして、田代警部補から、具体的対応要領の指導があった。そのポイントは、

１．来訪者のチェックと連携
・受付又は窓口係は、来訪者の氏名等の確認と用件及び人数を把握し、対応責任者に報告し、応接室等に案内する。

２．相手の確認と用件の確認
・落ち着いて、相手の住所、氏名、所属団体名、電話番号を確認し、用件の確認をすること。代理人の場合は、委任状の確認を忘れないこと。

断固要求を呑まない体制を

３．応答場所の選定
・素早く助けを求めることができ、精神的に余裕をもって応対できる場所で自分の管理権の及ぶ場所。暴力団の指定する場所や、組事務所には出向かないこと。やむをえず出向かざるをえない時には、警察に事前・事後連絡する。

４．応答の人数
・相手より優位に立つための手段として、可能な限り相手より多い人数で対応し、役割分担を決めておく。相手が多いときには外に出して相手の人数を減らす。

５．対応時間
・可能な限り短くすること。最初の段階で「何時までならお話を伺います」などと告げ応対時間を明確に示すこと。応対時間が過ぎても退去しない場合には、不退去罪での被害届けを出す旨を告げ、警察に連絡する。

６．言動に注意する
・暴力団は、巧に論争に持ち込み、応対者の失言を誘い、又は言葉尻をとらえて厳しく糾弾する。「申し訳ありません」、「検討します」、「考えてみます」などは禁句である。

7．書類の作成・署名・押印
・暴力団は「一筆書けば許してやる」などと詫び状や念書を書かせようとし、後日金品要求の材料などに悪用する。また、暴力団員等が社会運動に名を借りて署名を集めることがあるが書名や押印は禁物である。

8．トップは対応させない
・いきなりトップ等の決裁権を持った者が応対すると、即答を迫られ、次回以降からの交渉で「前は社長が会った。お前ではだめだ。社長を出せ、社長が会わない理由を言え」などと、喰ってかかられる。

9．即答や約束はしない
・暴力団員の応対は、組織的に実施することが大切である。暴力団員は、企業の方針の固まらない間が勝負の分かれ目と考えて執拗に、その場の回答を求める。

10．湯茶の接待はしない
・湯茶を出すことは、暴力団員が居座り続ける事を容認したことになりかねない。また、湯飲み茶碗を投げつけるなど、脅しの道具に使用されることがある。

11．応答内容の記録化
・電話や面談の応対内容は、犯罪検挙や行政処分、民事訴訟の証拠として必要である。相手に明確に告げて、メモや録音、ビデオ撮影をする。

警察、暴追センターとの連携を!!

12．機を失せずに警察に通報
・不要なトラブルを避け、受傷事故を防止するため、平素の警察、暴追センターとの連携が早期解決につながる。

その後の質疑応答では、警察への通報の仕方、暴力団と悪質クレーマーとの違い、歯科医師会での対応はどうなっているのか、など活発な意見が出で、明確な回答が得られた。

最後に医療対策委員会片山理事から謝辞、医療対策委員会冨屋委員長が閉会を行った。

医療対策委員会は、熊本県歯科医師会会員の職務を脅かす不当な組織暴力団の要求、悪質クレーマーに対して、毅然とした態度で接し断固要求を呑まない体制を常に取っていきたい。

（医療対策　我那覇生純）

# 広報委員会からのお知らせ

**熊日新聞の朝刊**に歯科に関するコラムが**無料**掲載されています。ぜひご覧ください。

■掲載面　「**くらし面**」（主に医療・福祉分野）
■掲載日　**毎週金曜日**（３月25日迄）全12回

**熊日新聞朝刊歯科コラム記事**

１月より熊日新聞朝刊に歯科コラムの**無料**掲載を行っております。（毎週金曜日、全12回）。執筆者は各委員会委員、校正は広報委員会です。尚、新聞掲載においては、むし歯→虫歯となっております。また文責は、県歯科医師会監修との掲載を希望しましたが、個人名の記載を強く要望されたため、執筆者となっております。御了承下さい。

16ページから19ページに４回分（第１回～第４回）を掲載しております。

# 3Dデータの臨床応用

## ― 日歯生涯研修セミナー（DVD版）及びCT研修会 ―

学術委員会

12月18日（土）県歯会館４F大ホールにおいて、日歯生涯研修セミナー（DVD）およびCT研修会が行われた。参加者は会員72名であった。

会長の挨拶の後、早速生涯研修に移った。長野県会員の北川原　健氏の『私の言ってきた歯周病治療の限界　～歯科再生療法の適応を考える～』のＤＶＤを放映した。

北川原氏は、歯科領域の「再生医療」は大きく分けて「歯の再生」と「歯周組織の再生」に分けられるが、現時点で一般開業医がてがけるのは「歯周組織の再生」だけであり、40年あまり、「従来型の歯周病に対する」処置を行ってこられた。患者によるプラークコントロール、歯科医師及び歯科衛生士による根面のデブライドメント、歯にかかる力のコントロール、歯牙の移動等による歯周病の病態の改善過程を診ていく時に頭にあったのは「獲得された付着様式」であった。

歯周治療後の治癒機転には「上皮性付着」と「結合織性付着」があるとされるが、大多数が「上皮性付着」で、やむを得ず「歯周ポケットを抱えたままでメンテナンスをしていく患者も多く存在するが、その観察をしていく中から「歯周ポケットを有したまま病態の進行を遅らせるための条件」が見えてこられた。

歯周ポケットを有したまま病態の進行を遅らせるための条件

プロービング時の出血（BOP）がないかごくわずかであること

- 歯肉縁上のプラークコントロールの質
- 歯肉縁下のプラークコントロール
- 歯根形態・性状
- 歯槽骨欠損の状態
- 細菌の質と量
- 患者の闘う意識の強さ
- 患者の持っているリスクファクター（喫煙等の生活習慣、感受性、免疫力、心身の健康状態…）
- 歯科医師及び歯科衛生士の診断力と技量

初期治療終了時点で歯の動揺が少ないこと

- 初期治療中は「動けるか？」「動かすことができるか？」
- 動揺する場合は他の歯と連結で動きを軽減できるか

その歯にかかる力が少ないこと

- 補綴処置との関連（義歯の鉤歯、ブリッジの支台歯にならないか）
- 歯ぎしり、食いしばり、噛みしめ…
- 咀嚼パターン……等

２年前に歯科用ＣＴ
導入された有吉会員

しかし、「根分岐部病変」に対しては歯根分割や分割抜歯のような歯牙の形態を壊して対処する方法をとってきたが、予後の悪いものも多く経験され、「根分岐部病変」に対しては、GTR法、エムドゲイン等の再生医療に期待され、そのためには医療制度のフォローが不可欠であると考えられている。

後半は熊本市開業の有吉　洋会員による「CT（３D）データを臨床活用する為に―依頼する側、受ける側の連携に必要な知識を検証する―」が講演された。

有吉会員は２年前に歯科用CTを導入され、インプラント治療の術前・術中・術後をはじめエンド治療や埋伏抜歯など、もはや診断に欠かせない情報となっているとのことだった。

しかし、高価である導入コストが診査診断に３Dデータ（立体像）を必要とする歯科医にその情報が行き渡るにはまだまだ壁があり、３D撮影を他の歯科医院、または医科に依頼することである程度この問題を解決できる。

これを円滑にするためにこの度、県歯にてCT撮影ネットワークシステムを活用し、臨床応用するために、依頼する側に理解していてもらいたいこと、特にどのようなケースにおいて３Dが有効か、及び自院で３Dビュアーソフトを使うための環境整備（パソコンスペック）、医科用ヘリカルCTと歯科用コーンビームCTの違い、各メーカーのCTの特徴や被曝線量の問題をわかりやすく解説された。

最後に牛島学術担当理事が総括および謝辞を述べ、講演は終了した。

これから３Dデータを臨床応用するために非常に有意義な講演だった。

※ＣＴ撮影依頼における基礎知識については、後日まとめたものを会報で報告する予定である。　　（学術　井上　裕邦）

# 在宅・施設での摂食・嚥下リハビリテーション

## ― 第１回介護者歯科実技研修会 ―

### センター・介護委員会

12月19日（日）午前９時より県歯会館４Ｆ大ホールにて大阪大学附属顎口腔機能治療部医長野原幹司氏をお招きして「在宅、施設での摂食・嚥下リハビリテーション」と題して研修会が行われた。

宮坂常務理事の挨拶で始まり、まず摂食・嚥下の歴史、現状についての説明があった。

「病院から在宅へ、キュアからケアへ」、つまり我々医療従事者も「嚥下訓練から嚥下支援・介助へ」「誤嚥させてはならないから誤嚥させても肺炎にならなければよいへ」「肺炎にさせてはならないから、肺炎の予知・早期対応へ」という考えへシフトチェンジが必要であるとの話であった。

その後、嚥下の分類①先行期②準備期③口腔期④咽頭期⑤食道期の説明、およびそれぞれの期での不具合への対処法の話があった。

摂食・嚥下障害の重篤な症状として誤嚥性肺炎が挙げられる。また高齢者の肺炎の原因の半分は口腔内細菌である肺炎細菌と言われている。

つまり、肺炎予防に対して我々歯科医師の占める役割はたいへん大きいものがある。

また内科的にワクチンによる治療も有効であり、我々歯科医師も内科的知識を必要とされているのではなかろうか。

研修会は大盛況だった

最後に義歯と嚥下の関係についての説明があった。咬める義歯→つぶせる義歯→飲み込める義歯への移行、さらに場合によっては義歯は必要ないと診断することの必要性の説明があった。

以上、今回の研修会も大盛況に終わり、有意義な時であった。（センター・介護　五島　嘉人）

# 「8020支援事業」いよいよ稼働

## ―「糖尿病と歯周病」の“講師養成”研修会 ―

### 地域保健委員会

１月15日（土）午後３時より県歯会館にて「糖尿病と歯周病」の“講師養成”研修会が行われた。この研修会は「熊本県糖尿病対策推進会議連携医」の認定登録条件に「糖尿病と歯周病」の講義が１コマ入ったことを受けて、各郡市で実務者研修会の講義を担当する歯科医師を養成するためのものであることを地域保健の田上理事から説明があった。

熱弁される古川昇助教

その後、熊本大学大学院生命科学研究部古川昇助教（代謝内科学）による「実務者研修会の概要と糖尿病の基礎知識」の講演が行われた。糖尿病とはインスリン作用の相対的不足によりひきおこされた持続する高血糖を主徴とし、特有の細小血管症を伴う疾患をキーワードとした糖尿病の病態、分類・診断、合併症、管理・治療について分かりやすく説明された。さらに、糖尿病対策推進会議の紹介とＤＭ熊友パスという糖尿病地域連携パス、実務者研修会の紹介があった。

その後、学術の牛島理事が実務者研修会の講義で実際に使用されているプレゼン資料をもとに、実務者研修会の講義のノウハウを説明された。今回の研修会に参加された会員には、プレゼン用のＣＤも配布された。

熱心に聞きいる会員

ＤＭ熊友パス、実務者研修会はまだ十分に普及しているわけではないが、実務者研修会の講師を歯科医師会会員が担当することは、地域保健委員会が提唱している「プロジェクトＰ」にとっても大変意義深いことであり、熊本県が推進する「8020支援事業」もいよいよ実際に稼働し始めた感がある。

（地域保健　明受　清一）

郡市会だより

# 楽しいひと時を満喫

## ― 会員親睦旅行 ―

### 下益城

恒例の親睦旅行が、11月27日（土）28日（日）の２日間にわたって行われた。本会においては、２年に一度会員同士の親睦を深める目的で企画されており、本年は宮崎で行われた。また今回は、城南町の会員の方が熊本市に合併されたことにより、今年度から熊本市歯科医師会へ移ることになったため、その送別会も兼ねて企画された。

当日は天候にも恵まれ、11名の会員が参加し、午後２時に緒方歯科医院駐車場に集合、バスにて出発となった。車中において早速ビールで祝杯がはじまり、途中準備したビールが足らなくなるというハイペースで盛り上がり、夜の宴会まで体力が持つのか一抹の不安を感じさせるスタートとなった。午後４時30分頃宮崎シーガイアに到着、温泉につかったり、海岸線を散歩したり、またお土産を大量に買い込んだりと、各々自由な時間を過ごし、午後７時から懇親会が開かれた。会の始めに大久保会長より、城南町の会員の方々にこれまでの会の運営に対するお礼を述べられ、またいろいろな思い出を語られた。先生方を代表して本田治夫会員より、会を移っても今まで同様連携し、親睦を深めていく旨を述べられた後、乾杯となった。宮崎の食材を十分に堪能し、午後９時ごろまでおおいに盛り上がった。

祝杯前にハイポーズ

２日目は、宮崎観光組とゴルフ組に分かれ、楽しい充実したひと時を満喫し、午後4時ごろ無事熊本に到着した。短い時間であったが会員同士の親睦も深まり、思い出深い旅行となった。　（右山　裕則）

# 来年もより良い年になりますように！

## ― 忘年会 ―

### 宇土

12月17日（金）午後７時30分より、宇土市内の日本料理店「綴」において、県歯より浦田会長をお招きして宇土郡市歯科医師会の忘年会が行われた。

会に先立ち、今年ご逝去された毛利明会員を偲び出席者全員で１分間の黙とうを捧げた。

次に中村会長より「今年で任期２年目となりました。今年決定した事項もありましたが、まだ解決していかなければならない問題もあります。大矢野地区の会員のあり方など今後地元の会員と考えていこうと思っています。あと残り数ヶ月ですが頑張っていきますので皆様のご協力宜しくお願いします。」と挨拶があった。

続いて、県歯浦田会長より「今日は来賓というより宇土郡市の一員という気持ちで来ました。今年一年いろいろありました。夏の選挙の際は会員の先生方には多くのご協力をいただきありがとうございました。来年も皆様にとってより良い年となりますように心より願っております。」と挨拶があった。引き続き、新しく入会された壽永旭博会員の紹介があり、「多くの先生方にお誘いいただき、この度入会させていただくことになりました。まだまだ未熟者ですが先輩先生方からのご指導、ご鞭撻を賜れれば幸いだと思っています。頑張りますので宜しくお願いします。」と挨拶があった。

挨拶をする中村会長

杉村監事の乾杯の音頭で宴会が始まり、新入会員の緊張をほぐすかのように酒杯のやりとりが始まった。外の寒さがうそのように会場は暖かく料理も美味しく会員同士の会話もはずみあっという間に時間が過ぎていった。午後９時半ごろ勇監事の一本締めで会はお開きとなった。　（青山　泰子）

郡市会だより

# 一年の苦労と悩みを発散

## ― 忘年会 ―

### 上益城

12月18日（土）午後６時より、熊本市河原町の和食「仲むら」において平成22年度上益城郡忘年会が行われた。いつもと違う会場という事もあり、新鮮な感じがした。江藤会長から「今年も御疲れ様でした、来年も頑張って行きましょう。」と挨拶があり、その後山都町の坂本会員から今年での閉院の報告があった。また、もっと社会全体に糖尿病と歯周病の関連性が認識されるように来年１月29日に御船町カルチャーセンターで開催される県の保健事業でもある有識者への糖尿病と歯周病についての講演会の概要についての説明があった。その後、河端副会長の乾杯の発声により忘年会がスタートした。会が始まるとおいしい料理に会員一同、舌鼓を打っていた。先付け、刺身と料理は続き、その中でもフカヒレとフォアグラの茶碗蒸しは絶品だった。時間も経過してくると色々な場所で笑い声が上がり、年齢も関係なく酒を酌み交わす光景が見られた。その中でも、坂本会員の周りでは会員が入れ替わり立ち代り「御疲れ様でした、これからも会には顔を見せてくださいね」と今までの労をねぎらっていた。終了の時間でもある午後８時になっても話題が尽きず、結局８時半に大盛況のうちに閉会となった。

来年も頑張って行きましょう

その後も街に繰り出し２次会、３次会と冬の寒さにも負けず、忘年会は続いた。忘年会の楽しさで、一年の苦労と悩みが発散され、来年への活力をもらったように思われる。

（野田　和宏）

# 卯年の跳躍を期待して

## ― 新年会 ―

### 天草

１月８日（土）午後５時よりホテル「アレグリア」において平成23年天草郡市歯科医師会新年会が行われた。今年は政界より安田天草市長、天草選出の西岡・池田両県会議員、園田衆議院議員秘書の釜田氏、三師会より大道医師会副会長、江浦薬剤師会副会長の来賓をお招きして行われた。

最初に久々山会長が「今年は天草郡市歯科医師会にとって創設80周年の節目の年、熊本県議会で決定した歯と口腔の健康推進条例による学校歯科によるフッ素洗口スタートの年でもある。地域歯科医療の充実に頑張って行きたい。」との年頭の挨拶があった。続いて安田天草市長が抱負を述べられ、更に西岡・池田両県会議員が新年の挨拶と共に県議会におけるフッ素洗口の条例可決の経緯について話された。更に大道医師会副会長が公益法人制度改革が天草地域医療センターに及ぼす影響について話され、引き続いて江浦薬剤師会副会長の乾杯の音頭により賑やかに宴会が始まった。

天草郡市歯科医師会創設80周年

地域経済の在り方、人口流失による人口減少、超高齢化の問題について此処彼処で話がなされていた。少しでも早く地域の不況が改善されて明るい兆しが見えてくるように卯年の跳躍を期待する次第である。

（槌本　亮二郎）

郡市会だより

# マジックショーに興味津々

— 新年会 —

## 八代

1月8日（土）午後5時より、八代ロイヤルホテル2階マーシーホールにおいて恒例の新年会が開催された。出席者は72名を数え、小さい子供さんやかわいらしいお嬢さんの姿がホールのあちこちに見られたいへん華やかな場となった。水上副会長の開式の辞の後、増田会長が壇上に上がり、「2010年は暗いニュースが多かった。今年は私たちの手で明るいニュース作っていきましょう！」と挨拶の言葉があった。続いて来賓の浦田県歯会長、澤田事務局長よりそれぞれ新年の喜びの言葉を頂いた。引き続き上三垣会員に乾杯のご発声をお願いし食事会が始まった。

昨年の新年会で好評だった揚げたての天ぷら、目の前で握ってくれるお寿司、さらにステーキやラーメンなどたくさんの料理が並び、それらを頬張りながらそれぞれお互い新年の挨拶や歓談が続いた。

会も中盤に入り、いよいよお待ちかねのマジックショーの始まりである。ＢＧＭに乗り颯爽と登場したのがマジシャン、マギーブヨブヨこと要　光氏（注　芸名ではなく本名）、なんと要氏は我々と同じ歯科医師で、鹿児島県歯科医師会の会員なのであった。趣味の手品が高じてステージでそのテクニックを披露するようになり今ではあちこちからひっぱりだこなのだそうだ。皆、興味津々でステージを見つめ次々に起こる奇跡！に酔いしれていた。ステージマジックが終わった後も要氏は各テーブルをまわり次々に違うマジックを披露されあちこちから感嘆の声とため息が聞こえてきた。マギーさん、ほんとうにありがとうございました。その後、恒例の豪華な賞品が当たるお楽しみ抽選会などもあり、会場は熱気と笑いとで一杯になった。あっという間に楽しい時間は過ぎ、午後7時30分、上田忠会員の万歳三唱でお開きとなった。

マギーブヨブヨこと要光氏の華麗なるショー

毎年、いろいろな趣向を考えて皆を楽しませてくれる水上副会長ほか厚生委員の方々、本当にお疲れ様でした。

（岩崎　晃司）

# 飛躍願う卯年の年初め

— 新年会 —

## 荒尾

酷寒の1月14日（金）午後7時30分より、大牟田市の料亭「新みなと」において荒尾市歯科医師会の平成23年新年会が開催された。はじめに福嶋修治会長より年初の挨拶が述べられた。また本宴は、昨年厄入りを迎えた中村圭介会員の厄晴れの会も兼ねており、同会員より厄晴れにあたって、会員への謝辞が述べられた。続いて坂田光輝会員より、年明けから話題の、タイガーマスク、伊達直人のエピソードを交え、日本もまだまだ捨てたものではないと述べ、乾杯の発声が為された。会員らはそれぞれ、年始の交杯初めを済ませ、それぞれの絆の固さを改めて確認した。歓談の後、山本宏副会長の万歳三唱により、午後10時前盛会のまま閉会の時間を迎え、会員たちは大牟田の街へ散って行った。

年始の挨拶をする福嶋会長

（馬場　一英）

国保だより

# 事業仕分けによる政府の補助金削減方針を憂慮

## ― 九歯連(九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会)諸会議 ―

１月22日（土）平成22年度の九歯連（九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会）諸会議が、ホテル日航熊本を会場に開催された。

①平成22年度第二回九歯連役員会
（14：00～15：00）

次第
１．開会
２．挨拶
３．報告（１）庶務報告　（２）会計報告
４．議題
（１）平成23年度九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会事業計画案
（２）平成23年度九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会会計歳入歳出予算案
（３）九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会役員の改選
（４）各県組合からの提出議題
５．協議
（１）全国歯科医師国民健康保険組合連合会役員及び各種委員について
（２）諸会議の開催予定
（３）第一回九州地区歯科医師国民健康保険組合連合会協議会の運営ならびに付議事項
６．閉会

②第一回九歯連協議会　（15：00～17：00）

次第
１．開会
２．挨拶
３．地元　浦田理事長挨拶
４．議長・副議長の選出　慣例により議長は、浦田理事長、副議長は竹之下副理事長
（開催県：熊本）（次期開催県：鹿児島）

歳入減と歳出増にどう対応していくかが今後の課題

５．報告（１）庶務報告　（２）会計報告
（３）監査報告
６．協議
（１）平成21年度各県組合の決算状況
（２）平成22年度各県組合の事業運営状況
（３）平成23年度各県組合の予算編成方針等
７.講演

熊本大学大学院生命科学研究部　産科婦人科学分野の大場　隆准教授をお招きし「熊本県早産予防対策モデル事業について」の演題でご講演をいただいた。講演では、早産のメカニズム・熊本県の取り組み・早産と歯周病の調査結果等について詳説された。

講演会終了後、同ホテルの宴会場で懇親会を行い、次期開催県の森原理事長の閉会の挨拶をもって終了した。各県いずれも組合の運営に厳しさを滲ませ、歳入減と歳出増にどう対応していくかが今後の課題である。

翌１月23日（日）は、熊本県歯科医師会館で九州各県事務担当者連絡会（９：00～14：00）が開催され、意見交換が行われた。

（桑田　和明）

## 訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小山ひろみ 先生
平成23年１月10日　ご逝去　49歳

●郡　市　名：菊池郡
●入会年月日：平成６年７月26日

# 平成22年度通常代議員会・通常総会のお知らせ

下記の通り平成22年度通常代議員会・通常総会を開催いたしますのでお知らせします。

記

**通常代議員会**　日時：平成23年３月５日（土）　午後２時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議事］

第１号議案　平成22年度特別会計熊本県歯科医師会8020推進事業会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第２号議案　平成22年度特別会計熊本県歯科医師会早産予防モデル事業会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第３号議案　平成22年度特別会計熊本県歯科医師会介護者歯科実技研修事業会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第４号議案　平成22年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出補正予算（案）の承認を求める件
第５号議案　平成23年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第６号議案　平成23年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第７号議案　平成23年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第８号議案　平成23年度特別会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第９号議案　熊本県警察歯科医会会則の一部改正（案）の承認を求める件
第10号議案　熊本歯科衛生士専門学院設置運営規則の一部改正（案）の承認を求める件

［協議］

１．公益法人制度改革について
２．未入会者対策について
３．時局対策について
４．その他

※代議員会は公開となっています。傍聴を希望される場合は、
会議場後方に席を用意してありますので、ご来場下さい。

**通 常 総 会**　日時：平成23年３月５日(土)　午後５時～（代議員会終了後）
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議事］

第１号議案　平成21年度会計別収入支出決算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成22年度特別会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第３号議案　平成22年度熊本県歯科医師会口腔保健センター会計収入支出補正予算（案）の承認を求める件
第４号議案　平成22年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出補正予算（案）の承認を求める件
第５号議案　平成23年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第６号議案　平成23年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第７号議案　平成23年度一般会計熊本県歯科医師会会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第８号議案　平成23年度特別会計収入支出予算（案）の承認を求める件
第９号議案　会長・監事選出に関する件
第10号議案　日歯代議員・同予備代議員選出に関する件

［協議］

１．公益法人制度改革について
２．時局対策について
３．その他

くらし

# 聞いてナットク！ 歯を大切に！ ～1～

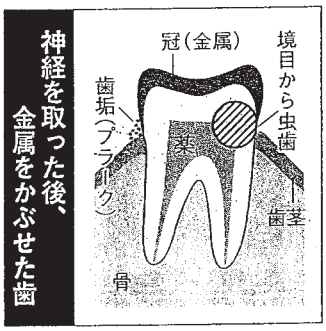
## 定期健診

# 1本でも長く残せるように

「定期健診は大切ですよ」とか、歯科医院で治療が終わると「定期的な健診を必ず受けてください」と言われることがあると思います。なぜ必要なのでしょうか。それは虫歯は、できるだけ浅いうちに治療した方が治りが良く、治療後の不具合も出ないからです。

症状が出てからの受診では、かなり虫歯が深くなっています。初期のエナメル質内での虫歯であれば症状はほとんどありません。自発痛がある場合、神経の近くまで虫歯が進行している場合がほとんどです。神経を取らずに治療できたとしても再度痛みが出る可能性があり、結果として神経を取るような治療が必要となる場合もあります。

神経を取った歯は、機能的にかむことでの支障はあまりないのですが、歯がもろくなるため削ってかぶせる必要があります。痛みがあるにもかかわらず、頑として「神経を取りたくない」と言う方が中にはいらっしゃいます。しかし、取らないと痛みが引かず、さらに治療が遅れると化膿が始まり、歯茎が腫れてきたりして、もっと厄介なことになります。虫歯は、痛みが出ていない状態で受診すると容易に治せます。



神経を取った後、金属をかぶせた歯

健診上もっと大事なことがあります。それは金属などがかぶせてある歯で、ほとんどが神経を取ってある場合です。虫歯になっても痛みは全くなく、良いことに思えますが、「痛みがない」とは「気づかない」ということです。「かぶせてある歯は虫歯にならない」と誤解している方がいますが、かぶせてある歯も金属の境目に歯垢（プラーク）が残っていると境目から虫歯になり、冠の中で虫歯が進行し、突然、冠が外れてきた時には、歯を残せないほどひどくなっています。痛みがなく、無症状で進行する方が問題なのです。

これを予防するには定期健診しかなく、大切な歯を1本でも長く残せるようにするには最も効果的です。

また、歯周病は「沈黙の病気」ともいわれます。歯を支える骨が溶け、かめなくなるのですが、骨が少し減るぐらいではかめなくはならないため、これも気づくのが遅れてしまいます。特に奥歯は、歯の根が数本に分かれているため、かなり進行しないと気づきません。

以前に比べると定期健診を受ける方は増えましたが、痛みが出てから受診する方が依然として多いことも事実です。定期健診を受けている方は、早期に治療でき、歯を失うことが少ないようです。歯の寿命を少しでも延ばすには、定期健診がどうしても欠かせません。痛み始めても放置し、どうしようもなくなってから受診する…。こんなことからそろそろ卒業しませんか。

◇　◇

県歯科医師会の歯科医師が基本的な歯科の知識を解説します。＝週1回掲載

（平成23年1月7日（金）熊本日日新聞より掲載）

くらし

# 聞いてナットク 歯を大切に！ ～2～

## かむことの効用

## 消化助け 胃腸の負担減らす

食事の際よくかむことが話題となります。「よくかむ」とは、「硬いものをかむ」ではなく、「十分な回数かむ」ということです。目安は一口30回程度。よくかむことで唾液中のアミラーゼなどの消化酵素がよく働き、消化を助け、結果として胃腸への負担を減らし効率よくエネルギーを吸収できます。このほか、かむことには多くの効用があると言われています。

①がん予防　よくかむことで唾液がたくさん出て、唾液中のペルオキシダーゼが働き、発がん物質の働きを弱めたり、細菌が体内に侵入することを防ぎます。

②脳を活性化　脳細胞の活動が活発化し、脳の血流が良くなり、脳の機能を活性化します。結果として記憶力や集中力が高まり、認知症の予防にもつながります。

③肥満、高脂血症、糖尿病を予防し治療効果を高める　かむという刺激は、脳の満腹中枢に作用し、食事を食べる速さや量を調節することが分かっています。食べ始めて30分程度で満腹中枢が働き食欲を抑えます。ゆっくり時間をかけてよくかんで食べると緩やかに血糖値が上昇し、食べ過ぎを防ぐ効果もあります。

イラスト・森山紀子

④虫歯、歯周病を予防する　よくかまないと、あごやあごの筋肉の発育に影響して、歯並びが悪くなり、虫歯、歯肉炎、歯周病の原因になります。よくかんで、唾液がたくさん出ると、唾液の自浄作用が働きます。唾液中の成分には歯を硬くしたり丈夫にする効果があり、酸に対し抵抗力を高めるたんぱく質のスタテリンも含まれています。よくかんであごが順調に発育すれば、発音なども良くなります。

⑤味覚の発達　よくかむと、唾液に食べ物の味覚物質が溶け出し、唾液中のガスチンの働きで本来の味をおいしく感じることが期待されます。

⑥顔の表情を良くする　かむことに必要な筋肉が鍛えられ、表情に若さを保てます（アンチエイジング）。

⑦運動能力の向上　バランス感覚や瞬発力の向上にはよくかめることが欠かせません。一流の運動選手は歯をとても大切にしています。

よくかむことで寝たきりのお年寄りが歩けるようになった例もあり、かむことは、全身の健康にとても大切です。よくかむためには歯の健康、口の健康を保つ必要があります。また、不幸にして歯をなくした際、そのまま放置せず、きちんと治療し、左右ともバランスよくかめるようにしておくことが大切です。

（県歯科医師会広報担当　加藤久雄）

＝次回は21日掲載

（平成23年1月14日（金）熊本日日新聞より掲載）

くらし

# 聞いてナットク 歯を大切に！ ～3～

## 根管治療

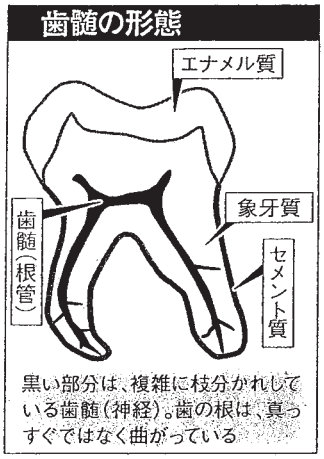
# 炎症進めば歯髄を除去

根管治療は、細菌に感染した歯質や神経を、リーマーやファイルと呼ばれる針のような器具で徹底的に除去し、歯の根の病気を予防・治療するものです。虫歯が深くなり歯髄（神経）に近くなると、しみたり、物が詰まると痛み始めます。

歯髄はいったん痛み始め炎症が進行すると、硬い歯の中にあるため元に戻りにくく、痛みが治まらなければ歯髄を除去、つまり神経を取る必要が出てきます。

虫歯以外にも歯髄が炎症を起こす原因となる場合があります。①歯周病が進行し、歯の根の先の底から細菌が侵入した②事故などの外傷により歯が歯髄の近くで欠けたり、ひびが入った③歯茎が下がって根が露出したり、過度の歯ぎしり、食いしばりで起きる知覚過敏がなかなか治らなかったりする―などです。

ところで、神経は図のように複雑に枝分かれをしています。また、治療の難易度は次のような要因で変わってきます。



黒い部分は、複雑に枝分かれしている歯髄（神経）。歯の根は、真っすぐではなく曲がっている

【虫歯の場所】深い虫歯は歯ブラシが届きにくい奥歯などにできやすく、根っこの中は直接見ることができません。

【患者さんの個人差】口の開く大きさが違い、開きにくい方は、細かい作業や器具の操作ができにくいものです。

【神経の数や根そのものの形】これも個人で異なり、歯の根が極度に曲がっていると治療器具が入りにくくなります。

【受診までの経過】来院までに歯髄がどれほどダメージを受けているかも影響します。

歯髄の中だけに細菌が侵入している場合、神経を除去し歯髄腔を無菌状態にして、後は薬を詰めて新たな細菌の侵入がないようにできれば治りやすいのですが、治療せず放置すると、治療が困難になります。

細菌が奥深く侵入し、根の先から、さらに歯の外側まで達すると歯髄腔を無菌の状態にするにはかなりの時間と治療回数を要します。神経の除去後、難易度により治りが悪く再度治療が必要になった場合も同様です。根の内部の細菌が繁殖する表面の凹凸を少なくし、隙間なく薬を詰められるように削ることや、清掃、消毒が必要です。

虫歯が深くなり神経を取らざるを得ない状況で受診した場合は時間、回数、費用など多くの負担がかかります。私たち歯科医師は百パーセントの治療を目指し努力しますが、全ての歯を完璧に治療することは難しいと言えます。できるだけ神経の治療となる前に来院されるよう願っています。

（県歯科医師会広報担当　宮田正孝）

＝次回は28日掲載

（平成23年1月21日（金）熊本日日新聞より掲載）

くらし

# 聞いてナットク 歯を大切に！ ～4～

## 歯周病と全身の関わり

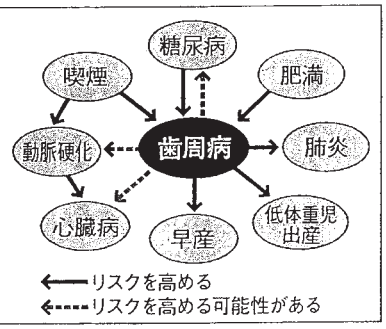
## いろんな病気の引き金に

歯周病と原因の歯周病菌は、体の病気と関連しています。恐ろしいことに歯周病菌や菌が出す毒素は、体のいろんな臓器に入り病気の引き金になっていることが最近の研究で分かってきました。

歯周病は、歯を支える歯茎、骨などに炎症（主に赤くなる、腫れる、痛むなど）が起こる病気です。初期ではほとんど自覚症状がないため、気づいた時には歯を支える骨が溶けて減っており、さらに進行すると歯がグラグラし、最後には抜けてしまいます。

歯周病の進行に伴い、歯と歯茎の境目に溝（歯周ポケット）が形成されます。もし口の中に5㍉の歯周ポケットが28本全部の歯にあったら、驚くことにその潰瘍の大きさは、手の平の面積と同じです。胃に手の平サイズの潰瘍が出来ていたら大変ですよね。歯周病菌やその毒素、炎症を引き起こす物質が歯周ポケット内の血管から侵入し、全身に回っていくのです。

歯周病の直接の原因は細菌の塊であるプラーク（歯垢）ですが、口の中の環境や生活習慣の中には間接的に悪化させる危険因子があります。口の中の環境の危険因子には、歯石・虫歯・歯並び・不適合な冠・口呼吸・歯ぎしりなどがあり、生活習慣の危険因子は、喫煙・ストレス・食習慣・不規則な生活などです。




歯周病と全身の関わりでは図のようなものがあります。

まずは、①歯科医院を受診し歯茎の健康状態を調べてもらいましょう。歯周病にかかっていたらどの程度なのか知る必要があります。程度により治療は少し違います。歯石を取った後は、正しいブラッシングを続けましょう。

②定期的にプロのケアを受けましょう。歯周病菌は歯ブラシの届きにくい歯と歯茎の境目に潜んでいます。完璧な歯磨きは難しいものです。プロが細菌を減らすお手伝いをします。歯面のクリーニングで歯垢がつきにくい歯にしましょう。

③正しい食生活（規則正しく、よくかむ、間食を減らす）を心がけましょう。

④禁煙も大切。喫煙は血管を収縮させて歯肉の血行不良を起こし、歯周病を治りにくくします。

⑤基礎疾患の疑いがあるときは必ず専門家に診てもらいましょう。血圧や血糖値などはコントロールが必要です。特に糖尿病は歯周病を引き起こしますが、歯周病を改善すると糖尿病の状態も良くなるというデータもあります。歯の健診を習慣づけ、病気の予防につなげていきましょう。

（県歯科医師会学術担当　城井かおり）

＝次回は2月4日掲載予定

（平成23年1月28日（金）熊本日日新聞より掲載）

# 会長の動静 1月

| 日付 | 曜日 | 時間 | 行事内容 | 場所 |
|---|---|---|---|---|
| 1月4日 | 火 | 8:30 | 仕事始め式 | 県歯会館 |
| | | 15:00 | 県知事・教育長・医療政策総室訪問（新年挨拶） | 県歯会館 |
| 1月6日 | 木 | 19:30 | 口腔保健センター危機管理体制打合せ | 県歯会館 |
| 1月7日 | 金 | 19:00 | 第19回常務理事会 | 県歯会館 |
| 1月8日 | 土 | 17:00 | 八代歯会新年会 | 八代ロイヤルホテル |
| 1月11日 | 火 | 12:00 | 自民党県連「新春の集い」 | 熊本テルサ |
| | | 15:30 | 第711回支払基金幹事会 | 支払基金 |
| 1月12日 | 水 | 14:00 | 第10回日歯広報正副委員長及び小委員長打合会 | 日歯会館 |
| | | 16:00 | 第９回日歯対外ＰＲ小委員会 | 日歯会館 |
| 1月14日 | 金 | 14:30 | 第３回県医療審議会 | 熊本テルサ |
| | | 18:00 | サンスター(株)新年会 | 熊本市 |
| | | 19:30 | 熊本市歯会中央支部新年会 | 熊本市 |
| 1月15日 | 土 | 14:00 | 県障がい児(者)歯科保健推進協議会 | 県歯会館 |
| | | 15:00 | 地域保健研修会 | 県歯会館 |
| | | 19:00 | 菊池郡市歯会新年例会 | 熊本市 |
| 1月17日 | 月 | 19:30 | 学院運営審議会 | 県歯会館 |
| | | 20:00 | 連盟三役会 | 県歯会館 |
| 1月18日 | 火 | 19:00 | 第20回常務理事会 | 県歯会館 |
| 1月19日 | 水 | 14:00 | 第８回日歯ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ企画小委員会 | 日歯会館 |
| | | 15:00 | 第８回日歯対内広報小委員会 | 日歯会館 |
| 1月20日 | 木 | 13:00 | 第11回日歯理事会 | 日歯会館 |
| 1月21日 | 金 | 18:00 | 県国保診療報酬審査委員会新年会 | ホテルキャッスル |
| 1月22日 | 土 | 14:00 | 九歯連役員会 | ホテル日航熊本 |
| | | 15:00 | 九歯連協議会 | ホテル日航熊本 |
| | | 18:30 | 熊本市歯会新年懇親パーティー | ニュースカイホテル |
| 1月25日 | 火 | 19:00 | 第10回理事会 | 県歯会館 |
| 1月26日 | 水 | 15:00 | 第11回日歯広報正副委員長及び小委員長打合会 | 日歯会館 |
| 1月27日 | 木 | 18:30 | 日本口腔腫瘍学会総会懇親会 | 熊本ホテルキャッスル |
| 1月28日 | 金 | 10:00 | 九州管区広域緊急援助隊合同訓練 | 県営水俣広域公園 |
| | | 19:00 | 第６回国保理事会 | 県歯会館 |
| 1月29日 | 土 | 13:00 | 学院戴帽式 | 県歯会館 |
| | | 15:00 | 各郡市学校歯科担当者会議 | 県歯会館 |
| | | 16:00 | 公益法人制度改革説明会 | 県歯会館 |
| 1月30日 | 日 | 10:00 | 第16回熊本県歯科医学大会 | 県歯会館 |
| | | 17:30 | 木村仁前参議院議員旭日重光章受章祝賀会 | ホテル日航 |

# 会　務　報　告

自　平成22年12月22日
至　平成23年１月20日

| 所管 | 日付 | 摘要 | 出席 |
|---|---|---|---|
| 総務 | 12月22日 | 九州管区広域緊急援助隊合同訓練打合せ | 前野副会長 |
| | 23日 | 道津剛佑長崎県歯前会長旭日小綬章受章祝賀会（ホテルニュー長崎） | 浦田会長 |
| | 24日 | 第27回九州地方社会保険医療協議会熊本部会（熊本市国際交流会館） | 中嶋副会長 |
| | | 新法人設立検討臨時小委員会 | 八木委員長他3委員、吉永会計士 |
| | 27日 | 第9回理事会<br>(1)平成23年度各委員会事業計画並びに予算（案）　(2)平成22年度介護者歯科実技研修事業会計収入支出予算（案）　(3)平成22年度一般会計収入支出補正予算（案）　ほか | 浦田会長他全役員 |
| | 28日 | 仕事納め式 | 浦田会長、小島副会長、西野常務理事 |
| | | TKU広報番組「医療あれこれ」収録　(1)1月12日（水）放送分 | 浦田会長 |
| | 29日 | 故下村敏朗会員（熊本市）告別式弔辞奉呈（熊本市） | 浦田会長 |
| | 1月4日 | 仕事始め式 | 浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事 |
| | | 県知事・教育長・医療政策総室訪問（新年挨拶） | 浦田会長、小島副会長、八木理事、澤田事務局長 |
| | 7日 | 第19回常務理事会<br>(1)平成23年度年間行事予定　(2)九地連協議会及び中規模県歯科医師会連合会への提出協議題<br>(3)地域医療再生臨時特例交付金 | 浦田会長他常務理事以上全役員、八木理事 |
| | 8日 | 九州各県専務理事連絡協議会（ホテル・レクストン鹿児島） | 渡辺専務理事 |
| | | 鹿本郡市歯会新年例会（山鹿市） | 中嶋副会長 |
| | | 八代歯会新年会（八代ロイヤルホテル） | 浦田会長、澤田事務局長 |
| | | 日大歯学部同窓会県支部新年会（熊本市） | 小島副会長 |

| 所管 | 日付 | 摘要 | 出席 |
|---|---|---|---|
| 総務 | 11日 | 自民党県連「新春の集い」（熊本テルサ） | 浦田会長 |
| | | 第711回支払基金幹事会（支払基金） | 浦田会長 |
| | | 本会予算打合せ<br>H23年度予算打合せ（一般・共済互助・労働保険・産業歯科・衛生週間・収益事業・資金調整基金・歯の健康文化賞・運営基金会計） | 西野常務理事 |
| | 12日 | 県との新公益法人制度に関する個別相談会（第4回）（県庁） | 澤田事務局長他2名 |
| | | 故小山ひろみ会員（菊池郡市）告別式弔辞奉呈（菊池市） | 小島副会長 |
| | | 第9回日歯対外PR小委員会（日歯会館） | 浦田会長 |
| | | 熊本民事調停協会新年会（KKRホテル） | 前野副会長 |
| | | 総務打合せ | 小島副会長、渡辺専務理事、西野常務理事、八木理事 |
| | 14日 | 会長・監事・日歯代議員・同予備代議員　立候補・推薦届出提出受付開始 | |
| | | 第3回県医療審議会（熊本テルサ） | 浦田会長 |
| | | 熊本市歯会中央支部新年会（熊本市） | 浦田会長、渡辺専務理事 |
| | | 総務委員会<br>（1）公益法人制度改革説明会 | 八木理事、永田委員長他全委員 |
| | 15日 | 月次監査　12月末現況監査 | 遠山・片山監事 |
| | | 菊池郡市歯会新年例会（熊本市） | 浦田会長、片山・松岡理事 |
| | 17日 | 第2回県糖尿病対策推進会議（県医師会館） | 田上理事 |
| | | 日本口腔外科学会熊本支部会第2回世話人会（ホテル日航） | 小島副会長 |
| | 18日 | 県後期高齢者医療運営協議会（県市町村自治会館） | 中嶋副会長 |
| | | 第20回常務理事会<br>（1）平成23年一般会計・特別会計予算（案）　（2）代議員会・総会の会務現況報告<br>（3）健康診断事業の委託業者の見直し　ほか | 浦田会長他常務理事以上全役員、八木理事 |
| | 19日 | 第8回日歯ホームページ企画小委員会（日歯会館） | 浦田会長 |
| | | 第8回日歯対内広報小委員会（日歯会館） | 浦田会長 |
| | 20日 | 第2回県歯科技工士国家試験委員会（県庁） | 松岡・竹下・牛島理事、添島委員長 |
| | | 第11回日歯理事会（日歯会館） | 浦田会長 |
| | | 第5回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁） | 中嶋副会長 |
| | | 新法人設立検討臨時委員会 | 八木委員長他全委員 |
| 社会保険 | 12月22日 | 保険個別指導（熊本テルサ） | 田中委員長、反後副委員長、宇治委員 |
| | 25日 | 社会保険委員会<br>（1）会員向け発行物　（2）個別指導立ち会い・個別相談会　（3）社保・学術講演会　ほか | 中嶋副会長、勇・前田理事、田中委員長他全委員 |
| | | 社会保険・学術講演会<br>受講者:184名<br>講師:日歯・森岡理事（東京都開業） | 浦田会長、小島・中嶋副会長、勇・前田・牛島理事、田中委員長他全委員 |
| | 1月8日 | 社会保険個別相談会　相談者:1名 | 田中委員長他2委員 |
| | 18日 | 保険個別指導　KKRホテル | 前田理事 |
| 地域保健 | 12月25日 | 地域保健小委員会　（1）糖尿病医科歯科連携パス　（2）早産予防医科歯科連携 | 田上理事、川瀬委員長他2委員 |
| | 1月7日 | 地域保健小委員会　（1）地域保健研修会 | 田上理事、川瀬委員長他1委員 |
| | 12日 | ねんりんピック2011健康フェア・相談コーナーヒアリング | 職員1名 |
| | | 県歯科保健推進会議ワーキング部会（熊本テルサ） | 田上理事 |
| | 15日 | 地域保健研修会<br>出席者:74名 | 浦田会長、渡辺専務理事、田上理事、川瀬委員長他4委員 |
| 厚生・管理 | 12月22日 | 厚生・管理小委員会<br>（1）国税局管内税務指導者協議会開催　（2）定期健康診断　（3）厚生管理講演会　ほか | 竹下理事、池嶋委員長他2名 |
| | 1月12日 | 厚生・管理小委員会<br>（1）定期健康診断医師会企画書　（2）厚生管理講演会　（3）緊急時対応マニュアル　ほか | 竹下理事、池嶋委員長他2委員 |

| 所管 | 日付 | 摘要 | 出席 |
|---|---|---|---|
| 広報 | 12月22日 | 広報委員会<br>(1)会報1月号・第1回校正 | 宮坂常務理事、加藤理事、立本委員長他全委員 |
| | 28日 | 広報小委員会<br>(1)会報1月号・第2回校正 | 宮坂常務理事、加藤理事、立本委員長他1委員 |
| | 1月11日 | 広報小委員会　(1)業者とのホームページリニューアルの打合せ | 加藤理事 |
| | 14日 | 広報委員会<br>(1)会報2月号・編集 | 宮坂常務理事、加藤理事、立本委員長他全委員 |
| 学校歯科 | 12月22日 | 学校歯科委員会　(1)各郡市学校歯科担当者会　(2)ライオン「学童歯みがき大会」デモ(ライオン歯科衛生研究所　口腔保健部より　2名) | 渡辺専務理事、大林理事、岩本委員長他4委員 |
| | 1月12日 | 県歯科保健推進会議ワーキング部会(熊本テルサ) | 大林理事 |
| | 14日 | 県学校保健会合同研修会(水前寺共済会館) | 大林理事、岩本委員長 |
| | 18日 | 学校歯科委員会　(1)各郡市担当者会議　(2)熊日コラム | 大林理事、岩本委員長他全委員 |
| | 19日 | 第9回日学歯理事会(日歯会館) | 渡辺専務理事 |
| | 20日 | 県PTA災害見舞金安全会判定審査委員会(県総合福祉センター) | 西野常務理事 |
| 医療対策 | 12月22日 | 医療対策小委員会　通知書発送手続き | 冨屋委員長他1委員 |
| | 25日 | 医療対策小委員会　医療相談 | 前野副会長、原田委員 |
| | 1月7日 | 医療対策小委員会　(1)会員相談への対応　(2)紛争事例の今後の検討　(3)事例仕分け | 冨屋委員長他1委員 |
| | 11日 | 医療対策小委員会　(1)大規模災害時の歯科医師会と自衛隊との連携講演会の打合せ<br>(2)県警講演会の反省点話し合い | 前野副会長、岡田副委員長他1委員 |
| | 14日 | 医療対策委員会　(1)事例報告・検討　(2)県警による講演会についての反省<br>(3)「双方向コミュニケーション」ガイド　ほか | 前野副会長、遠山監事、片山理事、冨屋委員長他6委員 |
| | 18日 | 医療対策小委員会　(1)3／26講演会打合せ　(2)紛争事例についての打合せ | 片山理事、冨屋委員長 |
| | 19日 | 医療相談　紛争事例の当該歯科医師の面談 | 冨屋委員長他1委員 |
| | 20日 | 医療対策小委員会　(1)大規模災害時の歯科医師会と自衛隊の連携講演会　(2)医療安全講演会の準備 | 前野副会長、岡田副委員長他1委員 |
| センター介護 | 12月25日 | 三気の里との打合せ(三気の里) | 松本委員長 |
| | | 口腔保健センターカルテ・会計チェック(口腔保健センター) | 松岡理事 |
| | 1月6日 | 口腔保健センター危機管理体制打合せ | 浦田会長、渡辺専務理事、伊藤常務理事、片山・松岡理事 |
| | 13日 | 障がい児(者)連絡協議会事前打合せ | 宮坂常務理事、松岡理事、松本委員長、他全委員 |
| | 15日 | 県障がい児(者)歯科保健推進協議会 | 浦田会長、宮坂常務理事、松岡理事、松本委員長他全委員 |
| | 18日 | 障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業打合せ　衛生士会より2名参加 | 松岡理事、松本委員長他全委員 |
| | 19日 | 県地域リハビリテーション支援センター連絡協議会・研修会(パレアホール) | 松岡理事 |
| 学院 | 12月24日 | 学院終業式(学院校舎) | 伊藤学院長 |
| | | 学院臨地実習場反省会<br>歯科医師17名　歯科衛生士26名 | 浦田会長、前野副会長、片山理事、伊藤学院長他7委員 |
| | 1月8日 | 日大歯学部同窓会県支部新年会(熊本市) | 伊藤学院長 |
| | 11日 | 学院始業式(学院校舎) | 伊藤学院長 |
| | | 学院役職員会(学院校舎) | 伊藤学院長他2役員 |
| | 13日 | 学院・センター予算打合せ | 西野常務理事、伊藤学院長 |
| | 17日 | 学院運営審議会 | 浦田会長、伊藤学院長他8委員 |
| | 19日 | 学院・センター予算説明会(学院校舎) | 西野常務理事、伊藤学院長 |
| 国保組合 | 1月13日 | 国民健康保険指導監督 | 上野副理事長、桑田常務理事 |

社団法人 熊本県歯科医師会 会員のみなさまへ　2010年度

# 会員専用 グループ保険制度のご案内

**Ⅰ. 団体定期保険（S51）**（死亡保障プラン）会員・配偶者
＜災害保障特約（S51）＞

**Ⅱ. 新医療保障保険（団体型）**（医療保障プラン）会員・配偶者・こども
＜手術特約/家族特約/家族手術特約＞

## グループ保険制度の7つの特徴

- お手頃な保険料で、死亡保障・入院保障を準備できます。
- 入院1日目から保障の対象となります。（医療保障プラン）
- 保険期間は1年で、毎年保障の見直しができます。
- 配偶者・お子様も会員ご本人とセットでお申込みになれます。
  ※団体定期保険（S51）は配偶者のみとなります。
- 医師の診査がなく、告知書の提出のみで簡単に申込みになれます。
- 団体定期保険（S51）・新医療保障保険（団体型）それぞれ剰余金があれば、配当金として還元されます。保険金・給付金のお支払状況等によっては配当金が0になる場合があります。
- 付帯サービス（健康コール24などのサービスを利用できます。）（医療保障プラン）

H21年度の配当金個人還元率は、（I）団体定期保険より約40%、（II）新医療保障保険団体型より約40%が加入者全員に還元されました。

**申込締切日：毎月15日**

保険期間：2010年8月1日（保障が開始する日）
～2011年7月31日

**申込書提出先：熊本県歯科医師会　事務局**

## 3 行事予定

| | |
|---|---|
| 1日(火) | 第23回常務理事会 |
| 5日(土) | 通常代議員会 |
| | 通常総会 |
| 12日(土) | 国保通常組合会 |
| 15日(火) | 第24回常務理事会 |
| 22日(火) | 第12回理事会 |

## 編集後記

最近、めっきり耐寒性がなくなりました。暖房のきいた部屋の窓から春の便りはまだかと金峰山を眺める今日この頃です。　(N.T)

熊本県ご当地よ坊さん

発行日／2011年2月15日発行
発行人／浦田　健二
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷